

(1/2) 本図面は2枚1組です

### ⚠ 安全に関するご注意

- この器具は、一般通常環境の屋内天井直付専用器具です。一般通常環境以外の所、傾斜天井、屋外、湿気の多い所、水気のかかる所、壁面、床面では使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。
- 電源電圧は、器具銘板に記載されている電圧±6%内でご使用下さい。また、電源周波数は器具銘板に従って正しく使用してください。感電・火災の原因になります。
- この器具は木ねじ取付専用器具です。必ず木ねじ(2本)で補強材のある位置に取付けて下さい。落下の原因になります。
- ご使用の際には、必ず壁スイッチと併用してください。電源をOFFできないとランプ交換時に感電の恐れがあります。
- 壁スイッチは常にONの状態でご使用ください。壁スイッチがOFFの状態ではセンサは作動しません。
- 本体を分解したり改造して使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 人感センサは温度の変化(動き)を感知するものです。動物(犬・猫)や車によって作動することがあります。
- 照明器具から100cm以上離れた場所に取付けてください。
- 停電直後の電源投入時は、設定モードに入ります。
- 冷暖房器から風を受ける場所には設置しないでください。

### 施工上のご注意

1. 使用周囲温度は-5℃~35℃です。
2. 必ず適合負荷容量以内でご使用ください。  
LED1台~560VAまで  
電球形蛍光灯10W形・15W形11灯まで、25W形7灯まで  
蛍光灯 銅鉄タイプ(低力)350Wまで/インバータ240Wまで  
白熱灯10W~700Wまで  
※楽調・よくばりシリーズは取付不可
3. 取付ネジを締め込みすぎると本体が変形し取付かない、または破損する恐れがありますのでご注意ください。
4. 負荷側にコンセントや照明器具以外の機器を接続しないでください。
5. リモコン機能付、センサー機能付、プルレス機能付、調光器付照明器具及びFANは接続できません。
6. 必ず当社指定器具と組み合わせてご使用ください。
7. 1回路に違う種類の負荷を混在させないでください。
8. 天井高さ7m以上に設置すると感知しない場合があります。  
天井高さ(器具取付高さ)7m以内でご使用ください。
9. 同一回路に複数台接続する場合は必ず極性を合わせて配線してください。

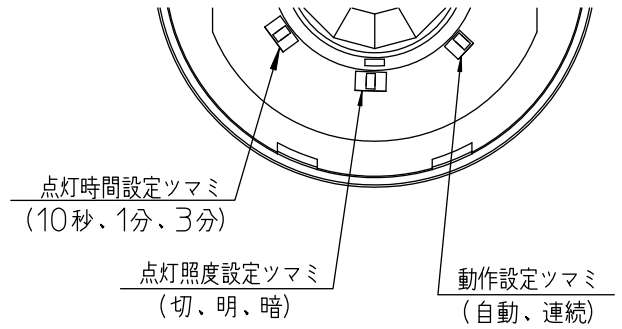
7				機能	補助用	特記事項 動作設定(自動・連続) 点灯照度設定(暗・明・切) 点灯時間設定(10秒・1分・3分) エリアマスク付 調光器併用不可 シーソコントローラーは使用できません。
6			取付場所	屋内 天井直付専用		
5			電源接続	端子台		
4			消費電力	- W	定格電圧 100 V	
3	化粧カバー	プラスチック	白	適合ランプ		
2	本体	プラスチック	白	付・別売		
1	取付板	プラスチック	白			
No.	部品名	材質	備考	器具重量	約 0.2 kg	三木 山口 ⑤

### 壁スイッチON時

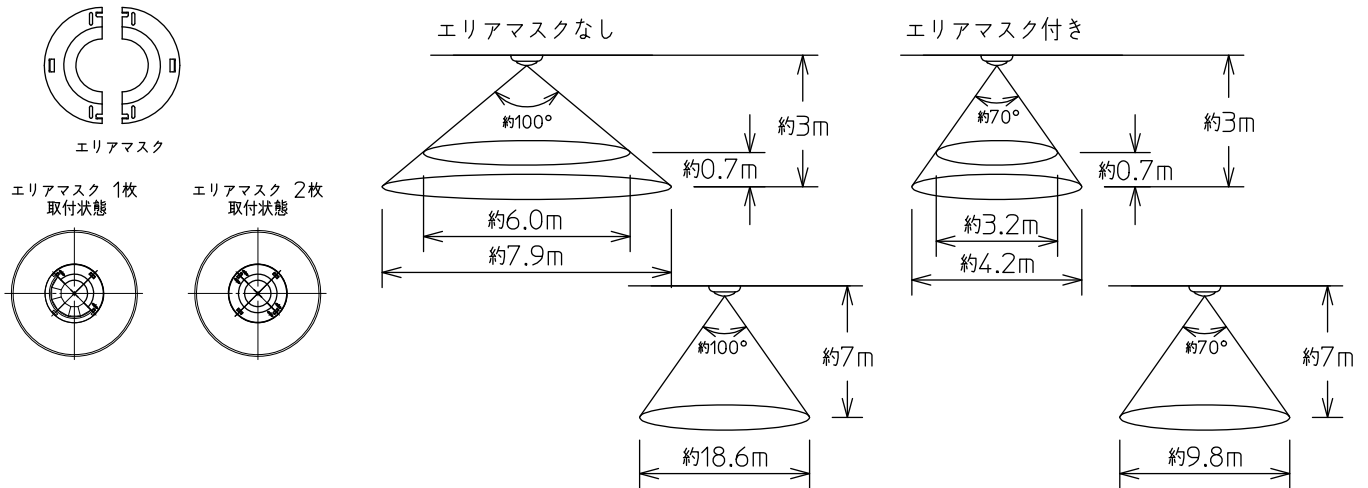
壁スイッチを「ON」にした直後は、照明器具が30秒間100%で点灯します。  
異状ではありません。  
30秒点灯後、設定モードへ自動的に移行します。

### 人感センサー

- この器具に付いている人感センサーは、感知条件（点灯時間、点灯照度、動作設定）の調節が可能です。
  - 点灯時間設定ツマミにより、点灯保持時間（感知エリア内で人を感知した後、消灯までの時間）を3段階（10秒、1分、3分）で調整することができます。
  - 点灯照度設定ツマミにより、器具が点灯する照度を設定することができます。
    - 切・・・明るい時でも人を感知すると点灯
    - 明・・・約45Lxで点灯
    - 暗・・・約15Lxで点灯
  - 動作設定ツマミにより、器具の動作を設定することができます。
    - 自動・・・センサーモードに設定
    - 連続・・・強制点灯モードに設定
- 周囲の照度が設定照度以下になった時、センサー作動状態となり、感知範囲内に人が入ると全灯状態になります。  
又、感知範囲内で人が動いている間は全灯し続け、人がなくなったり静止すると点灯保持時間後、センサー作動状態に戻ります。
- 周囲の照度が設定照度以上の時は点灯しません。



**感知範囲** 取付高さ3m、7m時。下図の範囲内に人が入ると感知し、器具が点灯します。



### 注意

- 人感センサーは、赤外線の変化(動き)を感知するものです。よって動物(犬や猫)により作動することがあります。
- 取付け高さが変わると感知範囲も変わります。
- 夏場など周囲温度が高い場所や、冬場で肌の露出が少ない場合など、感知しにくくなる事があります。
- 感知範囲内であっても、人が全く動かない場合は感知しません。
- センサーに向かって真正面より近づくと、感知距離が短くなる場合があります。
- 下記のような場合感知することがあります。
  - 感知範囲内にガスコンロなど大きな熱源がある場合。
  - 感知範囲内に風などでよくゆれるカーテンやふきんなどがある場合。
  - 人体感知レンズに直接蒸気などがあたる場合。